

目 次

はしがき	1
目次	3
研究組織・研究発表等	7

第1部 総論

コーパスを用いた日本語研究の精密化と新しい研究領域・手法の開発（田野村忠温）	23
コーパス日本語学の射程（丸山岳彦・田野村忠温）	32
日本語コーパス言語学の新展開（石井正彦）	39

第2部 日本語研究の精密化

複合辞

コピュラ再考（田野村忠温）	59
複合辞の本性について——その構成と単位性——（田野村忠温）	81
複合格助詞の連体用法について（杉本武）	90
コト節をとる「によって」句について（杉本武）	107
複合辞「ため」「ために」の語形と用法（杉本武）	123
「と一緒に」と「とともに」（杉本武）	141

意味分析

「代わり」の分析試論——巨大なWebコーパスに基づく考察——（田野村忠温）	151
「漢語動名詞＋‘先’」の意味分析 ——新聞コーパスの実例に基づく多義の研究——（服部匡）	168
「～先」の形の複合語について ——複数漢語要素を有するものについてのメモ——（服部匡）	183

コーパスからみた類義語動詞：「ねじる」と「ひねる」（杉本武）	186
--------------------------------	-----

周辺の現象

文法の中核と周辺——コーパスが観察可能にする文法の一面——（田野村忠温）	200
--------------------------------------	-----

非標準的な形の出現傾向と話者の意識について

——「めったにしか(～ない)」「ろくにしか(～ない)」という言い方——（服部匡）	212
--	-----

第3部 新しい研究領域・手法の開発

通時変化

大規模な電子資料に見る現代日本語の動態（田野村忠温）	219
----------------------------	-----

サ変動詞の活用のゆれについて・続

——大規模な電子資料の利用による分析の精密化——（田野村忠温）	241
---------------------------------	-----

「～シテイル」と「～シテオル」:

戦後の国会会議録における使用傾向調査（服部匡）	253
-------------------------	-----

「全く」と「全然」の使用傾向の変遷——国会会議録のデータより——（服部匡）

話者の出生年代を考慮した言語変化の研究——国会会議録を利用して——（服部匡）*	285
---	-----

通時コーパスにおける“テキストの年代差”と“書き手の世代差”

——20世紀後半の新聞コラムコーパスを例に——（石井正彦）	298
-------------------------------	-----

借用の「位相」

——JST・科学技術文献情報の「ユビキタス」を例に——（石井正彦）	326
-----------------------------------	-----

コロケーション・呼応

コーパスからのコロケーション情報抽出

——分析手法の検討とコロケーション辞典項目の試作——（田野村忠温）	343
-----------------------------------	-----

日本語コーパスとコロケーション——辞書記述への応用の可能性——（田野村忠温）

大規模コーパスを用いた副詞「全然」の共起特性の調査	364
---------------------------	-----

——朝日新聞とYahoo!知恵袋の比較——（服部匡）	387
----------------------------	-----

程度性をもつ名詞とそれを量る形容詞類との共起関係——通時の研究——（服部匡）*

	395
--	-----

マルチメディア・コーパス

テレビ放送のマルチメディア・コーパス

——映像・音声を利用した計量的言語使用研究の可能性——（石井正彦）	414
-----------------------------------	-----

統計的手法

因子分析を用いた程度副詞と述語等の共起関係分析の試み

——新聞コーパスのデータから——（服部匡）…………… 434

日本語研究における探索的データ解析の有用性（石井正彦）…………… 446

第4部 その他

インターネット

日本語研究の観点からのサーチエンジンの比較評価

——Yahoo!と Google の比較を中心に——（田野村忠温）…………… 459

日本語研究の観点からのサーチエンジンの評価・続

——検索ヒット件数の時間変動のその後と Web 文書量の推計の修正——（田野村忠温）…………… 470

解説

コーパスと文法研究（田野村忠温）…………… 483

コーパス言語学と語彙（田野村忠温）…………… 484

（小特集「国立国語研究所の60年」）語彙・計量研究（石井正彦）…………… 493

※ * を付した論文は未発表の論文である。それ以外の論文については「研究組織・研究発表等」に書誌情報を記載している。